

## 県ものづくり大賞、きょう表彰式

●3月29日(火)午後0時45分～

●ホテルニューオータニ高岡(高岡市新横町)

富山県  
ものづくり大賞

県が創設したものづくり企業の顕彰制度。県内に本社、生産拠点など主な事業所を置く企業が対象で、高度な技術力をベースに3年以内に開発した技術、製品を募集し、審査を行った。大賞(副賞100万円)、優秀賞(副賞30万円)のほか、新分野で事業化に成功しているベンチャー企業などを対象とした特別賞(副賞10万円)がある。優れたものづくり企業の顕彰制度には昨年度まで、北日本新聞社の「企業グランプリ富山」があった。県ものづくり大賞はこの取り組みを踏まえて、本年度に初めて実施された。

特別賞

「エコセパレ分離・破碎機」

## 再資源化の効率アップ

エムダイヤ(滑川市中村)



エコセパレで破碎・分離した素材を確認する社員=滑川市中村



森弘吉社長

### 会社メモ エムダイヤ

1979年、油圧機械を中心に産業機械の修理を行う会社として創業。2005年に法人化し、破碎機を中心としたリサイクル設備の設計・製作・販売などを手掛ける。10年4月、修理・メンテナンス業を分社化し「エムテクノ」を設立。資本金2千万円。従業員11人。

「もったいない!」をカタチに」をキャッチフレーズに、10年前からリサイクル機械の設計製造を手掛ける。「昨年に市場投入した「エコセパレ分離・破碎機」は、廃タイヤや廃電線などの異素材混合物を再資源化するため、素材別に分離する装置だ。画期的なのは、従来は3〜4工程が必要だった破碎と分離の作業を、たった1台の機械で行う点。独自のはく離技術で工程短縮と省スペースを図り、改良を重ねて従来は分離が困難だった光ケーブルや紙管などにも対応する汎用性を持たせ

た。森弘吉社長は「今後は「エコセパレ」をコアとして周辺設備の精度を高め、環境に貢献する仕事全般を手掛けたい」と話す。今年にはレアメタルを含む自動車関連部品や、金・銀・プラチナを含むコンピューター基板などを扱う企業の営業を強化する。国内市場の縮小を見据えて海外進出も計画。市場調査を経て来年にも欧州や米国で販売を開始する方針だ。